

黒野城と加藤貞泰公研究会
平成27年度(2015)活動行事記録

平成27年(2015)4月7日(火)
9:30～14:00

西部ふれあい保険センター主催 西部7地区ウォーキング大会

黒野城跡・深坂神社など黒野歴史文化紹介

岐阜市の西部ふれあい保健センター主催の西部7地区ウォーキンググループの交流会が黒野地区5.9kmのコースで開催された。

当初 4月3日の予定が雨天で7日に延期となるも黒野・西郷・方県・網代・木田・河渡・七郷の7地区約60名が参加。西部コミセンをスタートし、板屋川を渡り南進し板屋川大橋から桜が舞い散る風情の黒野城跡・多賀神社・小川市跡・国島家門・深坂神社へのコース。を郷会長と河口が説明。本丸跡では侍姿の名知さんと関谷さんが花を咲かす。黒野城跡では、弁当持参の昼食を挟んで午後もウォーキング。黒野の歴史文化を知ってもらえました。



桜の花びらで埋まる本丸跡で昼食



←黒野城跡から
多賀神社方面へ
向かう一行

↓ 洞の深坂神社
市指定天然記念物
樹齢約300年のすぎ



外堀跡で「小川市と力女」を郷会長からお話



平成27年(2015)4月12日(日)～25日(土)

北西部のまちづくり活動に期待

◎信田朝次氏岐阜市議選3期目当選◎

岐阜市議会議員選挙で3期目挑戦の信田朝次氏(研究会顧問)を研究会は支援活動を行いました。

有志にて選挙期間中事務所に当番で詰めたり、決起大会では候補者の入場に合わせて会員などによる陣羽織・蛇の目紋旗で会場を盛り上げた。

今迄、北西部では一人の地盤であったが、今回は地元黒野から3名の候補者による激戦のなか当選を果たされました。

岐阜市北西部のまちづくり活動に邁進・貢献されることを期待します。



当選お礼の挨拶



4月24日(金)
総決起大会にて
西部コミセン会場



←祝辞を述べる郷会長



関ヶ原合戦史跡めぐり

平成27年(2015)5月22日(金)
8:30~16:30

加藤貞泰公ゆかりの関ヶ原古戦場巡りを、一昨年(2013年)に引き続き別コースにて研修会。
快晴に恵まれ、名知勲氏の案内で9名が参加。関ヶ原町指定天然記念物の「旧中山道松並木」からスタート。近
くの桃配山徳川家康最初陣跡、岡山(丸山)狼煙場、裏側の瑞竜寺、決戦地、嶋左近陣跡、笹尾山石田三成陣跡、
ここでは持参の手弁当で昼食。その後、徒歩で島津義弘陣跡、小西行長陣跡、宇喜多秀家陣跡、天満神社を
巡り、笹尾山までを往復。途中民家を抜け田園地帯の自然も堪能。帰りは池田温泉前でお茶。



旧中山道松並木にて六部地蔵を拝見



旧中山道松並木 名知さんが写真展受賞と同じ場所にて



丸山(岡山)烽火場跡
加藤貞泰も麓に布陣した所であるが
標識や案内板に名が無い(>_<)



決戦地跡にて



←笹尾山にて昼食



↑ 蛇の目紋瓦の民家



のどかな風景の古戦場跡・後方左は笹尾山石田三成陣跡

平成27年(2015)7月1日～31日
(土、日除く)

展示時間：9:00～15:00

「岐阜信用金庫黒野支店30周年記念」で黒野城の歴史文化展示会

岐阜信用金庫黒野支店の浅井支店長、奥村次長さまから、7月1日～31日迄、黒野支店30周年記念のお客さま感謝デーの期間中に、黒野城など地域の歴史を知ってもらえる展示の要請がありました。快く引き受け、展示物を作成。設営は、銀行の皆さんと、研究会から7名にて行いました。

ロビーの広いエリアを利用させて頂き、多数のお客さまに、郷土歴史の一部を知って頂くことが出来ました。



岐阜信用金庫黒野支店(岐阜市折立)



高校生が「加藤貞泰と中江藤樹」研究 ＝鶯谷高等学校の生徒ら来城＝

H27年度全国高校郷土研究発表大会(8月4日・5日、全国から17校参加。会場は岐阜市南部コミュニティセンター)に出場の鶯谷高等学校の「地歴サークル」生徒18名が「加藤貞泰と中江藤樹」のテーマで研究発表。

調査に生徒2名と同校女子中学生と木村顧問が来城。日本陽明学の祖といわれる儒学者の中江藤樹を育てた、祖父の中江徳左衛門吉長が城主加藤貞泰の家臣で黒野城下に住んでいたことなど、黒野城を案内。



黒野城跡堀にて



平成27年(2015)
7月23日(木)
16:00～17:30



「平成27年度全国高校郷土研究発表大会」会場
＝8月4日 南部コミにティセンター会場＝
郷和彦さんと河口にて当日10校の発表を聞きに行きました。
審査員の一人は岐阜大学富樫幸一教授でした。



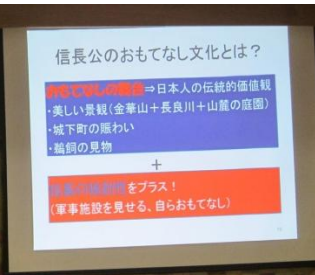
鶯谷高等学校の「地歴サークル」は、加藤貞泰と中江藤樹の関係を研究し、藤樹の生い立ちや学問から「孝行」の意味することを学び、脱藩した藤樹については、貞泰は学問を重んじた名君でしたと発表。これからの時代は学問と良心で切り開いていくべき、「知良致の時代」なのはないかとまとめた。

ふるさと岐阜の戦国時代 = 岐阜城・黒野城・北方城 =

黒野会館歴史講座にて、高橋方紀氏の「郷土史探訪 ふるさと岐阜の戦国時代—岐阜城・黒野城・北方城—」が催されました。

講座では、最新の発掘調査や当時の資料から読み解く岐阜城の姿と織田信長のおもてなし、地籍図から推測される北方城の姿、そして黒野城の発掘調査の結果、判った石垣等の解説や黒野城跡の価値などが説明されました。

会場には60名の聴衆が詰めかけ、最後に黒野城の発掘調査が今年も3年連続で行われることも報告されました。



岐阜城

文献や信長館跡の発掘調査から、信長公自らのおもてなしの文化があった。



黒野城

黒野城の価値は、僅か16年の存在にもかかわらず全国でもまれに見る本丸と土塁の遺構が残っている。城下町の町割りや惣構の土塁も残っている。



北方城

北方は古代から交通の要所(東山道)、歴史資産が凝縮。北方城の姿を地籍図などから推定。



黒野城三之丸搦め手土塁の竹藪伐採作業

平成27年(2015) 8月2日(日)、9日(日)、27日(木)

1次13名 7:30~10:00、2次6名 7:30~12:00、3次5名 7:30~12:30

9月23日開催の「黒野探訪」に向けて、見学コースの「黒野城三之丸搦め手土塁」の竹藪伐採作業を行いました。

現地は、黒野城城郭で現存する最大規模の鍵形土塁が残る外堀跡ですが、私有地で長年竹藪となっています。地主2家の許可を得て、8月は延べ3回の作業。早朝からの猛暑の中、延べ24名の研究会の有志が汗と蜂や蚊に悩まされながらもチェーンソー、鉋、鋸などで作業。予想を越える大変な作業でしたが約2mの高さの土塁が姿を現し400年前を忍ぶことが出来るようになりました。



作業前



1次作業後



2次作業後



3次作業後



1次作業



2次作業 松井さんの1トン車4杯,3次は3杯分を排出



3次作業後西方を望む 明るくなり地主や近隣の家からも喜ばれる



1次作業13名



2次作業6名



2次作業後の南方を望む

第2回黒野探訪 黒野城下町東巡りウォーク

平成27年(2015)9月23日(水)

9:00~12:00

黒野まちづくり協議会主催、研究会企画・案内の第2回黒野探訪は、天候にも恵まれ、一般参加者36名(地元の他、愛知県豊橋市、名古屋市、一宮市、近郊では揖斐、笠松、正木、則武の方々がホームページなどを見ての応募)案内スタッフ10名にて、本丸から城下町東側で初公開の土塁跡・超勝寺・佐藤家などを巡る。城下町周辺の歴史も知って頂きました。



3グループに分かれ、いざ出発



多賀神社裏の外堀跡
堀跡(用水路)は全長に渡り、竹、雑木などがきれいに伐採されていました



← 今回初公開の竹藪伐採の搦め手側土塁跡から、突然エイエイオーと武将隊登場。



折立超勝寺第21世御住職のお話の後、「お堀から出て来た観音さま」の紙芝居上演



折立佐藤家(後方の家)を後に本丸後へ移動

黒野小学校ふるさと学習(土曜日)

平成27年(2015)10月3日(土)

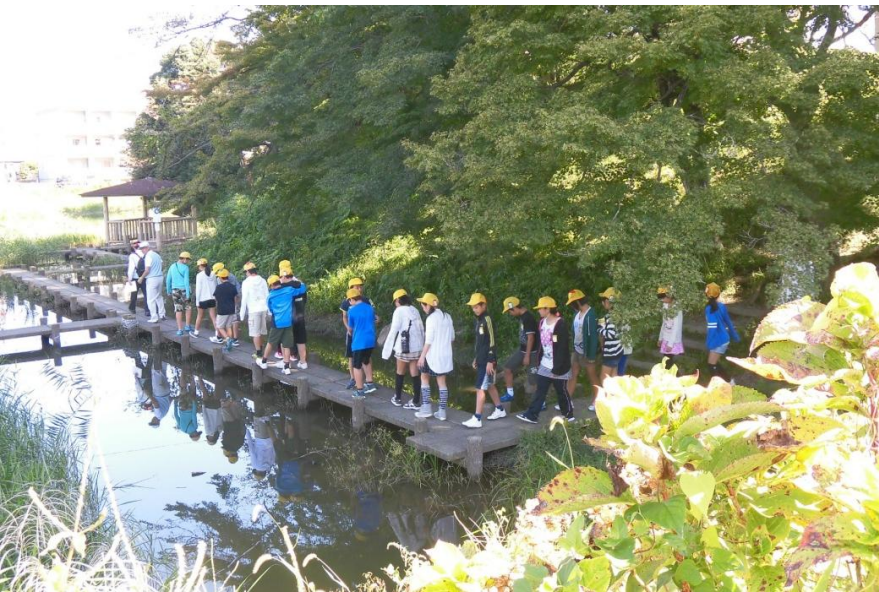
8:30~10:00

研究会スタッフ10名

平成27年度の黒野小学校ふるさと学習は、好天に恵まれ、6年生は3組の分かれて、学校から黒野城跡まで歩き城下町の学習。

5年生は体育館でプロジェクターによる「黒野城の歴史」と「ジオラマ学習」。それぞれに武将隊も加わりスタッフ10名で盛り上げに一役。子供達は、ふるさとの歴史を学び、郷土愛が高まりました。

- ◎ 6年生 「フィールドワーク」(現地学習)
- ◎ 5年生 「黒野城下町ジオラマ学習」(体育館)
- ◎ 1年~4年生 各教室TV「お堀からでてきた観音さま」の紙芝居観賞



平成27年(2015)10月4日(日)
11:30から黒野会館で着替・練習
入場行進14:00~14:20

いざ出陣「黒野城武将隊」

秋晴れの下、黒野小学校で開催された「第35回黒野校区市民大運動会」に、研究会が中心となって結成された「黒野城武将隊」が披露されました。黒野城主加藤貞泰公に扮した馬上の郷会長を筆頭に、関ヶ原合戦で共に戦った竹中重門や黒田長政、姫や腰元らが太鼓に合わせて会場内を練り歩き、注目と大きな歓声を浴びました。

仮装行列に参加者38人(研究会18人、黒野小校長・市議会議員3名・市民9名・中学生2人・子供5人・馬1頭)



←西部大成牧場白馬に勇姿の郷会長



姫役は岐北中3年の長屋鈴香さんと伊藤ゆみさん



平成27年(2015)10月18日(日)
9:00~12:10

長良川おんぱく2015 「御望山ふもとの古代ロマン探訪&旬の梨食べ比べ！」

新プログラムで企画のおんぱく開催は絶好の秋晴れの下、申込全員15名の参加で開催。スタッフは研究会9名と西垣家家族。黒野城跡公園に集合し、城跡から小川市跡、熊野神社、国島家門を巡り、御望の西垣果樹園に移動。

縄文の衣装に身を包んだ西垣義郎さんが中学生の頃から御望の大地より出土・収集した石器や土器を説明。古くは約6000年前の縄文時代の遺物を参加者は興味深げに手に取っていました。その後、西垣果樹園で収穫された4種類の梨を食べ比べ。瑞々しく大ぶりの梨に参加者の皆さんも舌鼓。お土産も用意して頂きました。

最後に犬塚郷家屋敷(幕末に水戸天狗党が立ち寄った)を外部見学してプログラムは無事終了しました。



4種の梨、幸水・豊水・秋月・新高



アンケート集計(5段階評価)

- ・プログラムはいかがでしたか? ..とても良かった9人・良かった6人
- ・プログラムに対する価格は? ... お得5人・ややお得5人・丁度良い5人

黒野城跡 平成27年度発掘調査現地報告会

黒野城と加藤貞泰公研究会

平成27年(2015)10月31日(土)

岐阜市教育委員会主催の現地説明会開催が新聞報道され、歴史ファン約50名が来城。埋蔵文化財調査事務所による現地説明に聞き入り、新たに発見された瓦と石垣・土塁の痕跡を見学しました。

400年前の入口付近の升形虎口の形状・構造・瓦の使用と徐々に黒野城が判明してきた。

1. 昨年度発見した石垣の延長と、絵図に描かれた土塁の屈曲点を確認
2. 築城時の南側土塁の一部を確認
3. 初めて瓦が出土



瓦初出土



黒野会館まつり 「加藤貞泰公と関ヶ原合戦」展示

黒野城と加藤貞泰公研究会

平成27年(2015)11月7、8日



のれん(あゝ関ヶ原)が架かる
会場入口が雰囲気演出



↑ 黒野城主の行動を
分かりやすく制作した
「加藤左衛門尉貞泰
関ヶ原合戦の足取り」
の大型パネル



今回のテーマは関ヶ原合戦

黒野城主が関ヶ原合戦にどんな関わりをしたか、足取りなど分かった調査資料を中心にパネルや資料を展示。

来場者に詳しく説明したら、「城主にそんなドラマがあったとは知らなかった、もっと普及活動をされるとよいですね」。他には「武将の話だけでなく、庶民の立場の資料がないので展示して欲しい」と要望があった。

舞台演技に初出場した名知勲さんのカラオケ熱唱に会場が沸く。



黒野会館撮影

名知さんの舞台演技、歌で再現する「関ヶ原 男の決断」

「小牧古城探索の会」一行を案内

平成28年(2016)2月3日(水)

11:00~12:00

案内人：郷会長：関谷・名知・河口

小牧古城探索の会代表関谷省之氏ら26名が中型バスで加納城→鷲山城→黒野城→昼食→大垣城の順で廻られ、

時間どおりの11時に黒野城跡に来られました。

黒野城跡で挨拶後、グループに分かれ本丸を一周し、資料館・多賀神社・外堀跡を巡りました。外堀の中に見学者が入ったのは初めてで、風で竹と笹葉の擦れ合う音に風情もありました。



二ノ丸資料館にて



多賀神社北側の堀跡を歩く→



KVK駐車場でお別れ・大垣へ移動された

黒野城三之丸搦め手土塁の竹藪伐採作業(冬)

平成28年(2016)2月6日(土) 8:30~12:00 9名

2月20日(土)8:30~10:30 4名

3月19日(土)8:30~12:00 4名

昨年夏以来、公式的には3月までに7回の伐採作業。
有志にて、チェーンソーで根元を切り、約3等分に切り、
ナタなどで枝落とし。竹と枝を分別して、片付け。



作業前(平成27年8月)



作業後(平成28年3月現在)



作業後(平成28年3月現在)

20日は、有志4名にて、作業の歩行に
危険な切株のカット。
あいにくの雨で途中まで。↓



2月6日の作業者(他に国島文男さん親子)



「ふるさと黒野検定子ども版表彰式」&「100問百答」発行

平成28年(2016)2月26日(金)

黒野小学校 8:30~9:30

今年で3年目となった「ふるさと黒野検定子ども版」は、郷土の歴史を学び、誇りと愛着を持ってもらう事を目的として、黒野小学校の4~6年生に1年を通して100問の問題に挑戦してもらいました。

その成績優秀者の表彰式が黒野小体育館で開催され、研究会担当者より賞状とメダル、参加した生徒全員に「100問百答」の問題集が手渡されました。年を重ねるごとに成績が上昇し、その中でも今年から参加した4年生の児童が全体での最高得点を獲得し、特別表彰もされました。



浅野さんから賞状を受け取る(左から)河崎さん、高橋さん、国島さん=岐阜市古市場の黒野小で

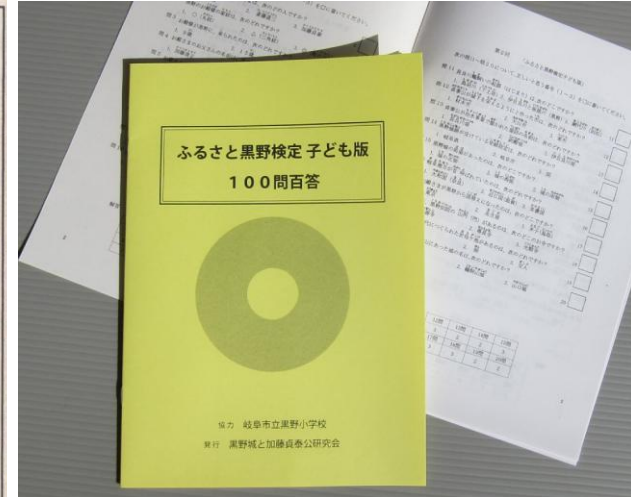
黒野城の知識競う

岐阜市黒野小学校(古市場)の四~六年生約二百七十人が、地元にあった黒野城に関する「当地検定」ふるさと黒野検定」に挑み、二十六日、成績優秀者の表彰式が同校であった。(田井勇輝)

黒野城は、戦国武将・加藤貞泰(一五八〇~一六三三年)が安土桃山時代に築いたが、わずか十六年で廃城になったとされる。この検定は、城の研究や観光案内を行う市民団体「黒野城と加藤貞泰公研究会」が、黒野小の児童に地元歴史や文化を知ってもらおうと、二〇一三年から実施している。

検定の成績優秀児童表彰

三回目の今回は、黒野城の特徴や貞泰の生い立ちなどに関する三択問題が百題出された。児童は研究会が発行するリーフレットなどを参考に、昨年六月十二月の放課後に十題ずつ解答。六年では九十一点の河崎夏海さん、五年では九十三点の高橋京華さん、四年では九十五点の国島悠貴さんがそれぞれ最高得点者となった。表彰式では、研究会メンバーの浅野正剛さん(左)がこの三人に賞状を手渡し「故郷を知って愛することは、これからの人生で大きな力になります」と話した。



「100問百答」(全12頁)
編集・印刷は部会メンバー手作り
地域事業者様の寄付金にて
1500部製本できました

- ・特別表彰
国島悠貴奈
- ・最優秀賞(金メダル)
4年1組 国島悠貴奈
5年1組 高橋京華
6年3組 河崎夏海
- ・優秀賞(銀メダル)
5名
- ・優良賞(銅メダル)
6名



平成28年(2016)3月2日(水)

10:00~15:00

案内人: 郷和彦・河口耕三・名知勲・(関谷太治・資料館)

「犬山中日文化センター」案内

犬山中日文化センターの皆さん(犬山・小牧・名古屋市・扶桑など尾張の方9名)と何度も黒野に引率されている岩田義城さん一行は、犬山に集合し電名鉄車で岐阜へ、岐阜バスで黒野城跡下車。10時過ぎに黒野城跡到着。資料を配付し、あいさつ・説明後に下記コースを15時まで散策。82才の方も元気よく歩かれました。



東木戸



超勝寺裏のしだれ梅



超勝寺境内

歩いたロングコース
 本丸一周→多賀神社・外堀→超勝寺・
 転深坊跡→搦め手土塁跡→古市場経由
 →国島家前→西木戸→郷純造の家→
 観音堂前→薬師堂→貴久家屋敷・休憩
 →二ノ丸資料館→光順寺門→あそか苑
 →よしや(買物)→黒野城跡バス停



東木戸の国島伊佐子さんと立ち話



貴久家にて屋敷の御前1, 620円



あそか苑・黒野別院本尊の阿弥陀如来像



薬師堂・バス停

平成27年度 案内板の設置

今年度は、全3個所に設置しました。いずれも地域の事業者様による寄付金にて制作・設置が出来ました。



小川市案内板設置場所整備
2月27日、国島文男さんのブルドーザにて整備作業(2名)



小川市の案内板(古市場熊野神社南境内)
有功幅2m・高さ1m・全高2.15m・支柱ステンレス鋼管(75×75)



県道大野線今川地内
(矢印側:東木戸から平野病院方面)
(会員の国島さん敷地内)



黒野城跡内「加藤貞泰公顕彰」碑の説明板



大洲史談会寄贈の加藤貞泰公顕彰碑

黒野城主加藤貞泰公が、国替で伯耆国(鳥取県)米子城へ、その後、伊予国(愛媛県)大洲城に国替えになり、大洲藩加藤氏六万石は明治維新まで十三代続きました。黒野と大洲は歴史的な繋がりがあり、平成二十四年(二〇一三)十一月六日に愛媛県大洲市の「大洲史談会」と「黒野城と加藤貞泰公研究会」の交流会が初めて実現。一行二十七名が来岐し、大洲から送られた寄贈の加藤貞泰公顕彰碑が除幕されました。

平成28年(2016)3月6日(日)
10:00~10:50 古市場熊野神社南境内

「小川市跡と力女の力競べ」案内板お披露目

平成25年に郷孝夫研究会会長が「小川市はどこのあったか・小川市に関すること」を調査、研究され100部を自費出版された。この研究成果を活かすために、案内板を建て衆知することが望まれていました。今年度、地域の事業者などから寄付金を賜り、その浄財にて案内板の設置と共に、紙芝居「小川市の話・少女と大女の力競べ」も制作。地元の関係者や事業者にご案内し、共にお披露目をしました。



黒野小西脇校長へ郷和彦紙芝居部会長から第3作小川市の紙芝居を寄贈



新日本ガス高井社長



岐阜大学富樫教授



信田市議会議員



咲き始めた河津桜のもと、30名の参加者の前で紙芝居を初披露



蘇る黒野城郭外堀・三之丸搦め手側の土塁跡

竹藪に覆われていた黒野城郭の外堀・三之丸搦め手側土塁跡は、土地所有者の許可を得て、研究会員による献身的な伐採作業で400年前当時の風情が見られるようになってきました。今後も継続して西側に続く約30mの土塁跡竹藪を伐採し整備していきたい。



作業前(平成27年8月2日撮影)



作業後(平成28年3月25日撮影)



作業前(平成27年8月2日撮影)



作業後(平成28年3月25日撮影)

「交人白寿会」で紙芝居上演

交人の白寿会(会長浅野正剛さん)総会後の親睦の席において同白寿会の会員でもある郷孝夫さんが自ら制作した紙芝居「小川市の話・少女と大女の力競べ」の上演を行いました。参加者39名に約1300年も前の郷土の歴史に関心をもってもらいました。



紙芝居の絵を画いた
郷孝夫夫人の正子さん

平成28年(2016)3月27日(日)～4月3日

「夜桜とイルミネーション」に武将隊盛り上げ

主催：黒野まちづくり協議会・黒野イルミネーション実行委員会

5年目を迎えた「2016黒野城跡 イルミネーション」は3月27日～4月3日までの8日間開催され約2,000人が訪れた。27日のオープニングでは、黒野城武将隊が鎧姿で登場。黒野城跡入口付近には趣向を凝らしたイルミネーション、土塁には提灯などが設置され、黒野の春の風物詩となりつつあります。



竿燈(かんとう)と大きな城パネルが初登場



←子供も大人も人気、リヤカーのドリーム号

今年は、あんぱんの他に、たこ焼きさんも登場

